（様式１）

県立日立北高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

(1) 全ての生徒が「学ぶ」喜びを実感し、自己実現を果たせるような「学び舎」をつくる。
(2) 校訓「誠実・克己・創造」の実践に努め、豊かな創造性や進取の精神に満ちた校風を継承し、発展させる。
(3) 学習活動と特別活動等との両立を推進し、生徒一人ひとりに自らの未来を切り拓く知性・能力を身につけさせる。
(4) 生徒一人ひとりを大切にする教育を実践し、生徒・保護者・地域住民に信頼される「地域に開かれた学校」づくりを推進する。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

(1) 広く情報を集め、客観的な視座から課題をとらえることができる
(2) 他者の意見を尊重すると同時に、その根拠やデータの正誤を検証し自己の意見を述べることができる
(3) 課題に対し、真摯にかつ当事者意識をもって考えることができる
(4) 事象を分析し、論理的な道筋をたどって自分の考えをまとめ発表することができる
(5) 課題に対し他者と協働して建設的に取り組み、成果を報告することができる
(6) 探究の活動を通して、自分の生き方に対して見通しを立てることができる

総合的な探究の時間の学習評価

(1) 独善に陥らず客観的な視点から課題について考える力
(2) 他者を尊重しつつ論理的かつ明快に自説を述べる発表力
(3) 当事者意識を持ち真摯に課題に取り組む力
(4) 他者と協働し課題を解決しようとする力
(5) 探究の成果や方法を自己の生き方に反映する力

生徒の実態

・自信を持った態度で発表に臨めないところがある
・熟慮し自ら論理を組み立てることに慣れていない
・当事者意識が低いため社会情勢に疎い生徒もいる

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

・視聴覚教材の色使いや音量等が適切である
・複雑な指示は手順をプリント等で明示する
・公正な議論ができるよう助言する

目指す生徒の姿

・調べたことを的確に発表できる生徒
・客観的多角的な視座から論理を組み立てられる生徒
・意欲的に取り組む「自立した学習者」たる生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

１学年

進路探究（４～１０月）

知識及び技能
(1)進路選択は多様で、まず知ることが社会に出るための重要な一歩となること(多様性)
(2)自らの適性や価値観を踏まえ、後悔のない進路を選択すること(独自性)

思考力、判断力、表現力
(1)体験や調べたことなどを関連付けて、自己の具体的な将来像を構築すること
(2)具体的な将来像から逆算し、実現するための客観的な道筋をまとめること

学びに向かう力、人間性等
(1)自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合おうとする
(2)自己の在り方生き方を考えながら、理想を実現しようとする

地域探究（１０月～３月）

知識及び技能
(1)地域には様ざまな課題が存在するという認識を持つこと(多様性)
(2)グループ活動を通して力を合わせ、課題の解決に向けて取り組むこと（協働性）

思考力、判断力、表現力
(1)課題を見出し、仮説・検証・データ収集の方法を考え探究の計画を立てる
(2)計画をもとに見出した課題を整理分析し、意見交換を通して自分の意見を確立する
(3)受け手にしっかり伝わる態度や文章で効果的な表現ができるようにする

学びに向かう力、人間性等
(1)言語活動を通して他者の意見と比較することで、よりよい自己の意見を構築すること
(2)他者に対して配慮をしつつ自説を主張することができること

２学年

沖縄探究（通年）

知識及び技能
(1)沖縄には独自の歴史･自然･文化があり、それを大切にして生活していること(独自性)
(2)沖縄探究学習を通して持続可能な社会づくりへの考えを持つこと(創造性)

思考力、判断力、表現力
(1)沖縄と自己の地域との比較をするなどの視点を含めつつ課題を設定する
(2)課題に対して仮説を立てより多くの情報を集め、深い分析と確かな根拠づけをする
(3)論理的で正確な記述と言説が実現できたかを内省し、以後の学習に生かそうとする

学びに向かう力、人間性等
(1)探究を通して、自己の在り方生き方を考えながら、将来社会の理想を実現しようとする
(2)自他の良さを認め特徴を生かしながら、協議して解決に向けた探究に取り組もうとする

３学年

教科探究（通年）

知識及び技能
(1)自己の将来を見据えて、進路や在り方についての考察を深める(独自性)
(2)自ら取り組み、主体的に学ぶ能力を高める(創造性)
(3)他を尊重し、自己の思いを適切に表現する姿勢を身につける(協働性)

思考力、判断力、表現力
(1)自然科学あるいは現代の社会について様ざまな課題があることを発見する
(2)課題に対して多くの情報を集め、深い分析と確かな根拠づけのもとに仮説を立てる
(3)論理的で正確な記述と言説が実現できたかを内省し、仮説に対し自己評価をする

学びに向かう力、人間性等
(1)探究を通して、自己の在り方生き方を考えつつ、将来の理想を実現しようとする

学習活動、指導方法等

［学習活動］
・１学年は進路、地域、2 学年は地域（沖縄）、３学年は教科（文系または理系）の各分野から探究課題を設定する
・1 学年は個人及びグループでの研究、2 学年はグループ研究、3 学年は個人研究を基本とする。
・単元の展開を工夫し、個人やグループでの発表の機会を設ける
・学習した内容をワークシートに記述する。

［指導方法］
・生徒の課題意識を連続的に発展し、進化させる支援
・個に応じた指導の工夫
・協働的な学習活動の充実
・教科・科目等との関連的な指導の重視
・言語活動による体験の意味の自覚化と深化

［指導体制］
・日北チャレンジ委員会における校内の連絡調整と支援体制の確立
・ワークショップ研修の重視
・担任外の教職員による支援体制の樹立
・広範な学習支援者や地域の人材との連携体制
・調べ学習に適した学習環境の整備

［学習の評価等］
・レポートや演習課題などを通して、生徒の変容やどのような点が優れているのかを総合的に評価し記述する
・自己評価や相互評価も考慮する

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

・日北チャレンジ委員会……随時内容や評価等の改善に取り組む 教頭、教務主任、教務副主任、進路指導主事、学年主任、豊かな心育成コーディネーターで構成する
・授業担当者会議（週１回程度）……授業担当者と日北チャレンジ委員１名以上により指導方法や評価観点、進捗状況について適宜情報を共有し円滑な運営を目指す
・総合的な探究の時間研修会……新規採用者、転入者対象の研修を実施し、本校の目標や育てようとする資質・能力についてレクチャーする
・外部講師との連携……各種セミナーに招聘する、県内および近隣の大学、各界で活躍する方、本校卒業生、地域の方々などの講師との連絡調整